

食品ロス削減にチャレンジ

まずは知るから、はじめよう

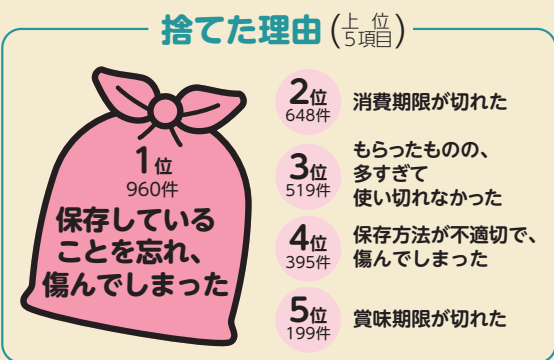
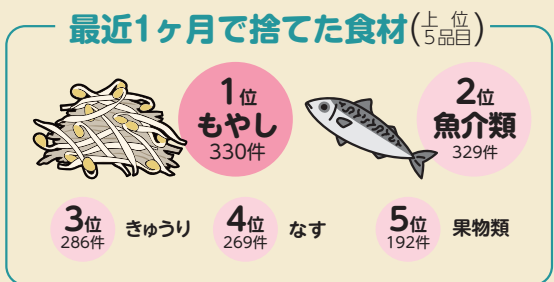
まだ食べられるのに、捨てられてしまう「食品ロス」。令和6年度は全国で約461万トン、経済損失はおよそ4兆円。国民一人あたり年間約31,000円分にもなります。県が実施した調査の結果※をヒントに、できることから少しずつ。今日から一緒にチャレンジしてみませんか。

※令和7年度食品ロスに関する県民意識調査（回答数=1,862件）

家庭編

冷蔵庫、のぞいてみませんか

使いきれないまま傷んでしまう食材、実は少なくありません。



チャレンジ

食材をよい状態で保存しよう

- ▶買ったらすぐ下処理して適切に保管
- ▶新鮮なうちに冷凍して、解凍後はすぐに調理など

週に1回「冷蔵庫のお片付け」

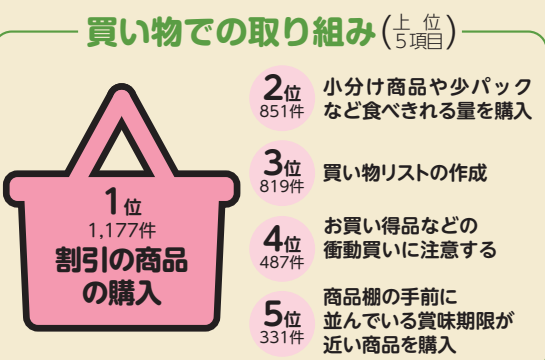
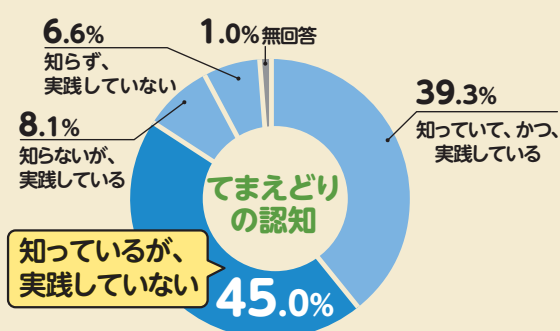
- ▶それぞれの置く場所を決める
- ▶シールやラベルを使って、より食品を管理しやすくするなど



買い物編

「てまえどり」してますか？

すぐに食べるものは販売期限の近い商品から選ぶことが、食品ロス削減につながります。



チャレンジ

買い物の3原則を実践しよう

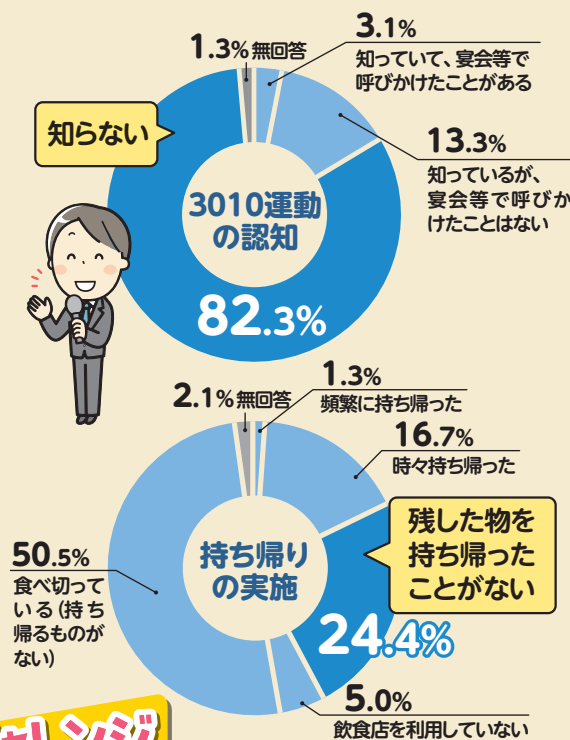
- 1 買い物前に手持ちの食材と期限を確認
- 2 必要な分だけ買う
- 3 期限表示を知って賢く買う



外食編

「食べきり」が新常識

合言葉は「3010運動」。乾杯後30分、お開き前10分は席を立たずに食事を楽しむ呼びかけですが、まだ十分に知られていないのが実情です。



チャレンジ

「食べきり」を呼び掛ける

- ▶参加者の意識も変わります
- ▶幹事が声掛けすることもある有効です

食べ残しの「持ち帰り」

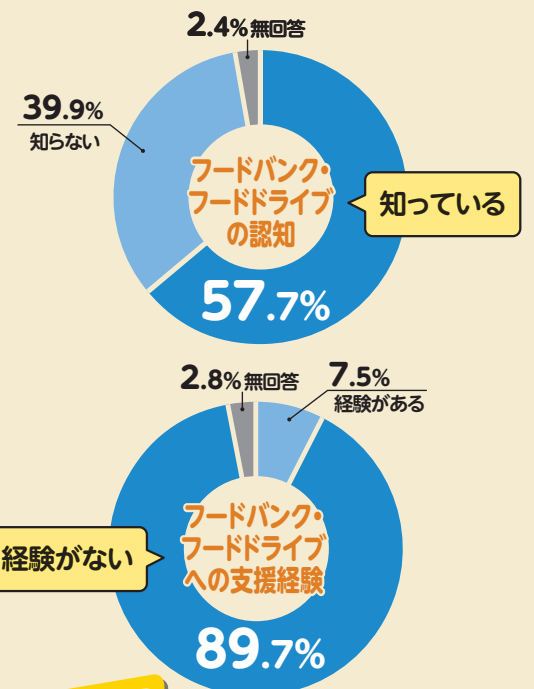
- ▶飲食店の方の説明をよく聞き、リスクを十分理解した上で、自己責任で持ち帰りましょう



フードバンク・フードドライブ編

余った食品を次の誰かへ

まだ食べられる食品を、必要とする人や施設へ届ける活動が「フードバンク」です。家庭で余った食品を店舗やイベント会場などで集める「フードドライブ」は、その活動を支える取り組みです。



チャレンジ

ウェブサイトや市町村広報等で関係団体の活動を知る

- ▶家庭で余っている食品があれば、フードドライブを通じて必要としている人へ届けましょう

